

書道 I

教科	芸術	単位数	2	学科・学年・コース	総合ビジネス科3年生（選択）
使用教科書	「書道 I」（東京書籍）			副教材等	

◇ 学習の到達目標 ◇

書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばします。

◇ 科目の特色 ◇

漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書等の表現と鑑賞だけでなく実用書にも取り組みます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 ・ 5	1. 生活の中の書 2. 漢字の書（楷書）	・ 細字で自分の名前練習（小筆、鉛筆） ・ 古典作品の鑑賞と臨書。
6 9	3. 漢字の書（楷書） 4. 刻字	・ 半切作品制作。 ・ 古典作品を元に作品制作。
10 ・ 12	5. 漢字の書（行書） 6. 仮名の書	・ 古典作品の鑑賞と臨書。カレンダー作品制作。 ・ 単体・変体仮名・連綿の臨書と短冊作品制作。
1	7. 漢字仮名交じりの書	・ 漢字と仮名の調和を理解し、半切1/2または1/3に創作。

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

書への 関心・意欲・態度	それぞれの課題に、興味と目標を持って意欲的に取り組もうとする姿勢が見られるか。 集団におけるきまりを守り、授業を大切にできるか。
書表現の 構想と工夫	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫しているか。
書表現の 創造的な技能	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表しているか。
鑑賞の能力	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっているか。

このため具体的には、各課題の作品及び取り組みを対象とします。また、1年間の評価は前期・後期の年間を通して上記を総合的に判断して決めます。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

心をこめて文字を書くということは大切なことです。各課題に意欲的に取り組み、創作の喜びを感じてほしいと思います。身の回りの書に親しみ、書道展を訪れるなど、生涯にわたり書を愛好する心を育てていきましょう。